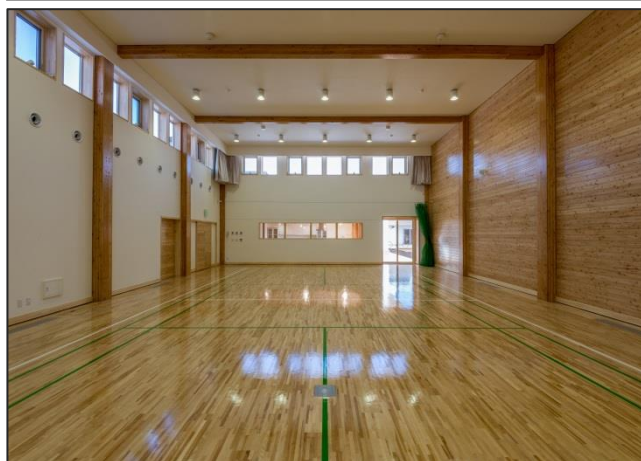


# 厚真町 厚南児童会館

■所在地	勇払郡厚真町字上厚真 258 番地 7	■木材使用量	191.75 m <sup>3</sup>
■設置者	厚真町	(うち地域材)	町産材 47.03 m <sup>3</sup> 、道産材 35.06 m <sup>3</sup>
■延床面積	653.94 m <sup>2</sup>	■使用樹種	カラマツ (厚真町産、北海道産)



## ◆施設の概要

本施設は、併設する認定こども園と共に上厚真市街地周辺整備における子育て支援施設として建設された施設で、主に放課後児童クラブの活動場所として活用されているほか、子育て支援センターも同施設内で運営されており、未就学児の子育てに関する相談や情報提供等の支援が行われております。

子ども達が遊びや学びを通して自然と地域産木材に触れられ、更には大人の来館者にも木の良さを感じてもらえるよう木と自然光が融和する和みのある空間造りをしており、バリアフリー化や安全面においても配慮を行ない、誰もが利用しやすい施設となっております。

## ◆工法等の特徴

構造部は、大空間の構築と耐震性や接合部強度における信頼性を重視し、木質二方向ラーメン構造を検討した結果、内部空間の演出面でも金物露出のないカラマツの大断面集成材によるサミット HR 工法を採用しました。また内装材にもカラマツの羽目板を用いた壁面や建具、移動経路にもカラマツのR付隅モールを取付けるなど、実際に手に触れ、目に映ることで地域産木材の良さを感じられるよう配慮すると共にハイサイドライトから柔らかく自然光を採り入れることにより和みのある空間演出をしております。

外装においては、耐久性やメンテナンス性を考慮し、ガルバリウム鋼板張りを採用しておりますが、各時間帯や季節の陽の光によって建物の表情が変わるよう、ホワイトといぶし銀色の2色を配色し、周辺の景観に馴染むよう配慮しました。

## ◆整備に当たり苦慮したこと

発注時期の問題から工期が非常に厳しかったが、施工方法等について現場の方々や設計者から積極的にアイデアが出されるなど、関係者全員の工夫があって無事工期どおりに竣工を迎えられました。

## ◆利用者の声

「想像していたよりもカラマツの主張が強すぎず落ち着いた雰囲気となっている。」「いろいろな木の使い方や見せ方をしており、興味が湧く」など、木材に対する関心の高まりを感じさせる意見がありました。